

# ここにいま

平成29年度西朝明中学校  
学校通信 第6号  
平成29年7月10日

本年度は、1・2年生の自主学習ノートと3年生の厚物学習について、校内顕彰規定を設けて表彰しています。毎日の学習で自分なりの努力を続けた生徒には、下のような規定の賞で努力を称え、励みにしてもらおうというものです。

7月6日正午現在、1年生で50名の生徒たちが、2年生で38名の生徒たちが受賞しています。3年生は、規定のように学期ごとに授賞の機会を設けていますから、まだ誰も受賞していません。しかし、1学期の課題全てを学習して提出してくれれば、受賞できますから、まだこれからでも受賞の機会は得られると思います。3年生の生徒たちが、沢山、受賞してくれることを想定して、1学期の課題は、7月14日までの範囲で100%達成かどうかを諮ることにしました。三者懇談の週にも課題はありますが、そこまで〆切を伸ばしてしまうと、校長が賞状に名前を書いて準備することができなくなってしまう（時間が不足して）と考えたからです。

| 1・2年生の場合            | 3年生の場合                       |
|---------------------|------------------------------|
| 自主学習ノートの学習回数        | 学期ごとに厚物学習のそれまでの範囲を100%学習した場合 |
| 50回 努力賞             | 1回目（1学期末） 努力賞                |
| 100回 奨励賞            | 2回目（2学期末） 奨励賞                |
| 150回 敢闘賞            | 3回目（3学期末） 敢闘賞                |
| 200回 優秀賞            | さらに年間を通じて 優秀賞                |
| 250回 最優秀賞           | 2年生から通算して 最優秀賞               |
| 1日につき1ページを目安としています。 |                              |

1・2年生で最も早く努力賞を受賞した生徒は、5月末でした。すると、順調に毎日コツコツと取り組んでくれていたら、1学期末までに奨励賞に届いてしまう生徒が現れてくれるかもしれません。そうなることを楽しみにしています。

第4号では説明が不足していましたので、3年生について補足します。1学期末で100%を達成できたら努力賞です。そして、1学期は受賞できなかった生徒が2学期に初めて100%を達成したら努力賞となります。また既に努力賞を受賞した生徒が、2学期も頑張って100%を達成したら、上記のように奨励賞です。そこで、悩んでいるのが、1学期には100%を逃したけれど、

夏休みと2学期にやり残した課題をやっしまい、1・2学期分とも100%を達成したら、どうしましょう？1回目だから努力賞ですが、1学期分も取り組んだのだから奨励賞も授賞すべきでしょうか？初めての試みなので、始めてからいろんなケースに対応していかなければならないことを痛感しています。でも、頑張った努力は認めてあげたいので、1学期分の100%達成が7/14でなく、



例えば9／1であれば、受賞日を9／1として努力賞はあげたいと思うのです。

とにかく、3年生の皆さんが今からでも、やり残しに取り組んで100%を達成してくれる生徒が沢山でてくれることを願って、通信で呼びかけたいと思いました。頑張ってください。

もちろん、頑張ってもらいたいのは3年生だけではなく。

1・2年生の生徒の皆さんが50回達成で校長室に来てくれます。

その時、パラパラとノートを見せてもらって、「KEEP IT UP!」とゴム印を捺しています。その印の下には、「検 山田」というスタンプも同時に捺します。

その自主学習のノートには、その生徒なりの頑張りが見て、よくわかります。88名のノートを見せてもらって感じることは次のようなことです。

- ① その生徒なりの工夫やこだわりがよくわかります。
- ② きれいに仕上げてくれているノートが多いこともわかります。
- ③ 大きく漢字練習をしている生徒もいて、大いに結構です。学習を進めていくにつれ、効率とか、能率を考えてくれるといいな、と思います。
- ④ 書き慣れていない字が徐々に、その生徒なりの文字で安定してくるといいな、とも思います。
- ⑤ 余白は少ないと後で見にくいものなので、余白は必要です。でも余白の方が多いのも、③と同じくもったいないな、といつかは気づいてくれるといいな、と思います。
- ⑥ 時々、学習しなかった空白のページがありますが、土曜・日曜に学習するときに巻末のページを使うのではなく、これまでの空白のページを使うといいな、このまま使わなければもったいないな、と思います。
- ⑦ 沢山取り組んでページが足らなくなったら、自分で「自主学習ノート」を作って、取り組んでくれるようになるとうれしいな、と思います。

「誇り高い西朝明中学校」を生徒会が目指してくれています。生徒会活動に協力的になって、みんなが一所懸命に取り組むことはとても大切です。でも、その前に部活動や学習に、頑張る生徒の集合体が西朝明中学校です、と言えることが誇りに向けて第1歩だと思います。とにかく、力を出し惜しみせず、何にでも頑張ってください。その先には、必ず……。

努力賞を作成する時、ゴム印を捺してスタンプを捺してから、名簿に記録して、さらにデータ保存しています。そして、賞状に名前を書きます。申し訳ないことに、私は字がうまくありません。

30数年前に、字が下手ではいけないと思い、書道教室に週1回通ったことがあります。行書の6級をとって、3ヵ月でやめてしまいました。部活動を終えて19時からの書道塾でしたから、体力がもちませんでした。

だから、下手なまま、しかも墨をするわけでもなく筆ペンで苦労して名前を書いています。生徒の皆さんも保護者の方も、このまま校長の下手な字で賞状を書いていきますことをお許してください。決しておろそかにするのではなく、下手でも「ちゃんと書こう」とはしているつもりです。ご容赦ください。さて、3年生の努力賞は何枚、必要になるのか、1・2年生の奨励賞第1号はいつなのか、とても楽しみです。奨励賞は賞状の紙を努力賞の倍の大きさにして準備しています。

